

情報公開文書

名称	せん妄に対する抗精神病薬の使用
診療科等	全診療科
分類	適応外使用
対象者	当院で治療を受ける患者で、せん妄を呈した患者
承認日	2023年9月15日
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p><b>【目的・意義】</b></p> <p>せん妄は、身体的・環境的な負荷が加わり、一時的に意識障害や認知機能の低下が起こる状態です。頻度は高く、原因に応じた環境調整や薬物療法を実施します。社会保険診療報酬支払基金が公表している審査情報提供事例において、ハロペリドール、リスペリドン、クエチアピン、ペロスピロンの4剤がせん妄に対する処方として記載され、社会的にも認知されています。その他、当院ではオランザピン、ブロナンセリンも選択肢に加えて、個々の症状や背景に応じて、適切な薬剤を選択して実施します。</p> <p><b>【想定される不利益と対策】</b></p> <p>各薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等と考えられます。副作用が出現した場合には、通常の診療にて対応し、必要に応じて専門医とともに治療にあたります。</p>